

神戸国際大学・神戸国際大学附属高等学校



秋の宗教週間・ベトナム人留学生受け入れ



核廃絶ヒロシマ・中高生による署名活動

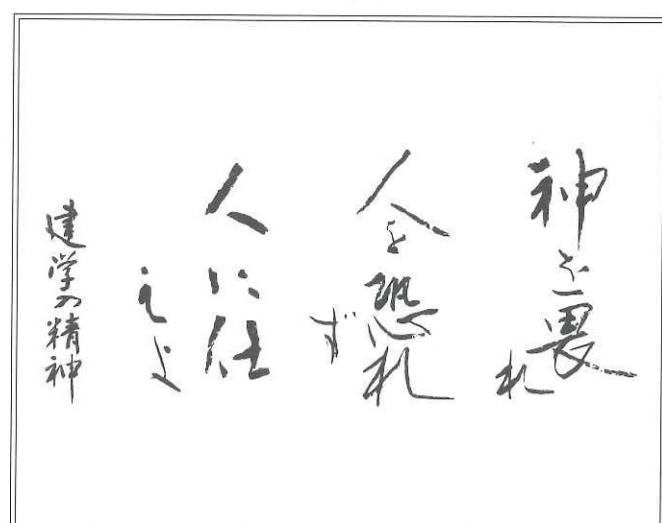


ヒロシマ平和旅考（千羽鶴献納）



朝の礼拝

目 次	
人の光.....	原田佳城 .. 2
永年勤続表彰 おめでとうございます！！	
青木尚龍・田坂茂政・三宅義和 .. 3	
ヒロシマ平和旅考参加者報告 原爆ドーム	
レークインスアンイエン（ベトナム） .. 3	
ハンドボール部 関西学生ハンドボールリーグ1部昇格	
..... 西畠賢治 .. 4	
ヒロシマ平和旅考(2019.8.4-6) .. 大和慎吾 .. 5	
夏の福祉体験「ワークキャンプ」... 藤原朱希 .. 5	
2019年度行事報告・予定 .. 6	





人 の 光

附属高校チャプレン、明石聖マリア・マグダレン教会牧師
司祭 シモン 原 田 佳 城

「言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。」
ヨハネによる福音書1:14

一年を総括する

毎年年末になると今年の字というものが発表されますが、今年はどのような字が選ばれるか楽しみです。過去に「絆」「輪」という漢字も選ばれました。実は2005年は「愛」という字が選ばれました。2005年の「愛」については、その年の世相を反映するというよりも、人々の願望を示していると思われます。近いうちに再び「愛」という字で世相を示すような年になって欲しいものです。

「命が人間を照らす光であった」という言葉

「命は人間を照らす光であった」という言葉は非常に味わい深いものです。言い換えますと一寸やそっとでは理解できません。「命=光」、「ライフイズライト」、言葉の響きは美しいし、非常にシンプルです。しかし、「命」と「光」というものを具体的に考えるならば、「光は光」であり、「命は命」であり、それらはそれぞれ全く別なものであり、相互に何の関係もないのです。ただ、キリストを示す「象徴」として結び合わされているというだけで結びついているにすぎない。そういうことで、この言葉を理解したと本当に言えるのでしょうか。

幼い子どもたちから学んだこと

私は幼稚園のチャプレンとして、毎週一度子どもたちに聖書のお話をしますが、その時に子どもたちをじっくり見ることができ、子どもたちはわたしの言葉の一言ひと言に敏感に反応してくれます。この反応というものは「命」であります。死んでいるもの、命のないものは反応しないのです。さらに、注意深く子どもたちを見ていて、非常に感じたことは子どもたちの目です。子どもたちがこちらを見るときの目は輝いています。もちろん、何時もいつもというわけにはいかないですが、もし輝いていない目があれば、それは何か問題がある場合です。この子どもたちの「輝く目」において、「命」と「光」とは合体しているのです。本当の美しさというものは「命と光との合体」であります。「命は輝いているときに命である」。

光は命に触れて輝く

考えてみると、光は何もないところでは輝かないのです。光というものは、何かにぶつかって、そこにあるものを照らし出すことによって輝く。そこに何もなければ、光は輝くこともない。光は命に出会って、命を輝かす。輝いているのは命であり、同時に光であるのです。

光は醜も照らす

光が照らし出すものは美しいものだけではありません。醜いものも照らし出します。しかし、光に照らされた醜いものは「輝き」ではないのです。それは「暗闇」です。わたしたちは「暗闇」を決して美しいとは感じません。と同時に、「暗闇」をそのままに放置しておけないです。何とか、しなければならないと感じます。そこからはわたしたちの課題であります。「暗闇」を抹殺してしまうわけにはいかない。なぜなら、その「暗闇」もわたしたちの一部であるからです。「暗闇」を「輝き」に変革する作戦。わたしたちは子どもを見て「命の輝き」を感じます。「わたしが子どもたちを見て」と思っています。しかし、本当は子どもの輝きを見ているのではなく、子どもの輝きによって「わたしが照らされている」のではないかでしょうか。

「わたしと命の輝きとの関係」ということになると、わたしの方が照らされる命であって、照らしているのは子どもの方であります。この「照らし照らされる関係」が崩れるとき、大人にとって子どもは邪魔者にすぎなくなるのです。子どもを物体化し、自分の自由になる対象にする。現代の悲劇はここにあります。わたしたちを照らす光が見えなくなってきたのです。

命は人間を照らす光である

「光が人間を照らす」ではありません。「命が人間を照らす光」であります。人間を照らすものは「命」であります。人間は「命」に照らされて輝く。つまり、光となるのです。人間を照らす命は子どもの命であります。幼子イエスが命であります。イエスがわたしたちのために何かをしたのでもなく、イエスの言葉がわたしたちに何かを語りかける以前に、「幼子イエス」がわたしたちを照らすのです。「貧しい飼い葉桶の中で平和に寝ている幼子イエス」に照らされて、わたしたちは「光」となるのです。メリー・クリスマス！

永年勤続表彰 おめでとうございます！！

勤続30年表彰



附属高校保健体育科教諭
青木尚龍



附属高校数学科教諭
田坂茂政

勤続20年表彰



大学経済学部教授
三宅義和

ヒロシマ平和旅考参加者報告 原爆ドーム



報告者：交換留学生
レークインスアンイエン（ベトナム）

私は日本に来て、もう5か月になりました。留学生で神戸国際大学で勉強しています。神戸国際大学では、毎年夏休みに広島県を訪れ、平和と歴史を学ぶツアーを行っています。この夏休みの際に、広島の平和と歴史を訪れて学ぶ機会がありました。今回のツアーいろいろなことを体験しました。

私が訪れる場所の一つは原爆ドームです。原爆ドームは、第2次世界大戦末期に人類史上初めて使用された核兵器により、被爆した建物です。ほぼ被爆した当時の姿のまま立ち続ける原爆ドームは、核兵器の惨禍を伝えるものであり、時代を超えて核兵器の廃絶と世界の恒久平和の大切さを訴え続ける人類共通の平和記念碑です。原爆ドームは大正4

年（1915年）広島県物産陳列館として完成しました。物産陳列館は、県内の物産の展示や即売、商工業に関する調査・相談などの業務を行っており、美術展や博覧会などの文化事業の会場としても利用されました。昭和20年（1945年）8月6日午前8時15分、米軍のB29爆撃機により人類史上初の原子爆弾が投下され、広島市街地の中心部の上空約600メートルで爆発し、一瞬のうちに広島市街地の建物が倒壊し、多くの人々の生命がうばわれました。産業奨励館は爆心地から約160メートルの至近距離で被爆し、爆風と熱線を浴びて大破し、天井から火を吹いて全焼しました。当時この建物の中にいた内務省中国四国土木出張所や広島県地方木材株式会社・日本木材株式会社広島支社・広島船舶木材株式会社などの職員は全員即死しました。戦後、旧産業奨励館の残骸は、頂上の円盤鉄骨の形から、いつしか市民から原爆ドームと呼ばれるようになりました。国際記念物遺跡会議などの審査を経て、平成8年（1996年）12月、メキシコで開催された世界遺産委員会において、原爆ドームの世界遺産登録が決定しました。

私にとって、この旅考で最も印象的なことはヒロシマ平和旅考と平和行進です。前にやったことがないでの、新たで有意義なことです。戦争で殺された人々へのオマージュと世界の平和を求める行為です。外国人の私にとって、戦争中に日本人が被った痛みを感じました。



ハンドボール部 関西学生ハンドボールリーグ1部昇格

神戸国際大学ハンドボール部

監督 西 畑 賢 治

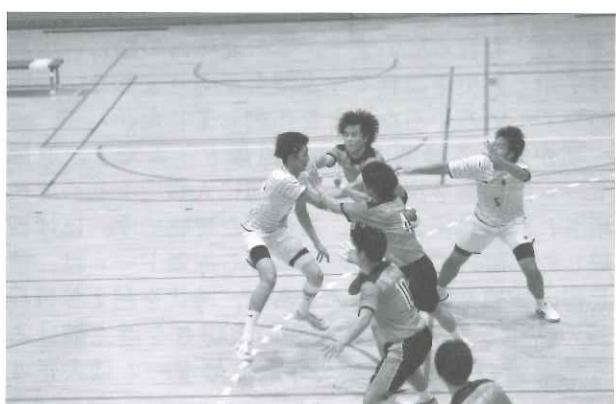
10月20日に行われた関西学生ハンドボールリーグ秋季リーグ戦1部・2部入替戦で勝利し、(神戸国際大学28-25京都産業大学) 来シーズンリーグ1部昇格が決定致しました。

去年の春季リーグの入替戦で1部の立命館大学に劇的な1点差の勝利で創部以来初の1部昇格を決めました。しかしながら秋季リーグにおいて同じ立命館大学に敗戦し、今年のシーズンは2部リーグでのスタートとなりました。今年の春季リーグ戦の入替戦においては、1部リーグの京都産業大学に延長戦の末に敗戦し、2部リーグ残留という悔しい思いをしました。この悔しさをバネに秋季リーグで入替戦出場のチャンスを得て、再び京都産業大学を相手に互角以上の試合運びで勝利しリベンジすることが出来ました。実は本学の絶対的エース(秋季2部リーグ得点王)が入替戦直前に肩を負傷し、ゲームに出場出来ないという圧倒的不利な状況でした。しかしながらエース不在の状況において、コートに立った全員がそれぞれの力を十分に発揮し今年最高のゲームが出来ました。特にこのゲームを最後に引退する4回生の活躍のおかげで勝利出来たのはとても感動的でした。3人の4回生のうち2人は怪我の時期が

長く、リーグ戦においてもなかなか出番がなく悔しい思いをしていました。その2人がようやく入替戦に間に合い、3人揃って今までにないほどの素晴らしいプレーを随所に見せてくれました。この勝利は彼らにとって最高の思い出になったと思います。4回生にはもう一人欠かせない人物がいました。女子マネージャーの学生です。彼女は入学当初ハンドボールの練習を見学に来てくれて、そのままマネージャーとして4年間裏から支えてくれました。彼女がいなければこのチームの団結は無かったかも知れません。4回生の皆さん4年間本当に有難うございました。心から感謝しております。

さて来シーズンの目標ですが、春季リーグ1部上位を狙っていきたいと思います。そして全日本学生ハンドボール選手権大会(インカレ)出場を目指したいと思います。インカレへの道はなかなか険しいと思いますが、このインカレ出場は部員全員の気持ちです。一人ひとり切磋琢磨し、厳しい練習に耐えてぜひともインカレの切符を掴み取ります。

応援して下さる全ての方たちの期待にお応えできるよう精一杯頑張りたいと思います。



ヒロシマ平和旅考（2019.8.4-6）

高校教諭

大和慎吾

今年は4人の男子高校生が高大合同の夏季研修会であるヒロシマ平和旅考に参加しました。1日目は日曜礼拝後の出発だったため移動のみ、2日目は午前に今年リニューアルされた平和資料館を見学、午後に核兵器廃絶署名活動と祈りの集い・平和行進、そして関係学校の生徒たちとの交流会と多忙の日。3日目は原爆逝去者記念礼拝に出席した後、被爆体験を拝聴。

2日目の署名活動（表紙写真）は、今年多くのキリスト教関係学校の生徒たちと合同で行われました。今年の高校生は大人しめ、果たしてどれほど集められるのか、そんな引率教員の心配をよそに、要領をつかんでいろいろな人に声をかけに行きました。外国人に対しては英語で話しかけることも出来ました。せっかく英語がうまく話せたのに「I've already written」と返された時はややがっかりした様子。それでも猛暑の中、健闘しました。

2日目の夕方、祈りの集いと平和行進は聖公会・カトリックの合同行事。ともに静かに賛美し、祈り、その後元気に賛美しながら平和行進。この平和行進を終えた高校生は広島復活教会に戻り、関係学校の生徒たちとグループに分かれて、署名活動の感想や、平和のために自分たちに出来ることなどを、熱心に語り合いました。

3日目は帰途に就くまでのスケジュールがタイトなうえに、礼拝・講話と混雑が予想されました。予め宿泊場所の掃除、帰り支度を整えてからの礼拝出席となりました。その分、礼拝に集中できました。8時15分には礼拝の中で原爆投下時刻の黙祷が厳かに捧げられました。

その後、ゴミはコンパクトにして神戸に持ち帰り。少人数でしたが、洗練された団体行動のもと、充実した学習ができました。

詳しくは、高校ホームページをご覧ください。



わたしがあなたに与える命令は平和(イザヤ60:17)
I will also make your officers peace. (Isaiah, 60:17)

夏の福祉体験「ワークキャンプ」



2年1組

藤原朱希

私が神戸市社会福祉協議会主催の福祉体験に参加したのは、今回で2回目でした。前回は、保育園での研修だったので、今回は変化を求めて児童館に行くことを選びました。

児童館にいる児童の年齢は幅広くて、かなり忙しい三日間でした。しかし児童館の職員の方々が、子どもたちとの関わり方や改善点について親切に教えてくれて多くのことを学ぶことができました。

私は福祉体験に参加する前に、「福祉」という言葉について調べました。辞書によると、「すべての人に与えられる、豊かさや幸せを意味する言葉である」と出てきました。その時は与える側の気持ちになる事は出来ませんでした。しかし三日間を通じて、福祉を支える人々の頑張りを近くで見て、福祉とは支える側の人々がいないと消えてしまう尊いものであると学びました。児童館や保育園だけではなく、老人ホームや障害者施設も、その施設を支えて働いてくれる人々のおかげで成り立っているものだと思いました。

そして、職員の方々の「支援者」としてのあり方は、普段の生活でも大いに参考にできるものと思いました。ありのままを受け入れて、自分の意見を相手に押し付けるようなことはせずに、みんなに平等に接する職員さんの姿勢にとても憧れました。

私の将来の夢は福祉に携わることなので、来年またこの福祉体験に参加するときは今回の反省点を生かし、より一層福祉への理解を深めていきたいです。



誰を遣わすべきか。わたしがここに。(イザヤ6:8)
Whom shall I send? … Here am I! (Isaiah, 6:8)

学院チャペル委員会

◎「ヒロシマ平和旅考」(第18回高大合同夏期研修会)
 (日本聖公会神戸教区「広島平和礼拝2019」)
 日程 8月4日(日)~6日(火) 2泊3日
 行先 広島復活教会
 参加者 神戸国際大学学生・附属高等学校生徒・教職員18名

◎日本聖公会関係学校協議会・職員研修会 ⇒
 今年度は都合により中止

◎2019年 学院・高校創立記念礼拝
 (附属高校)
 日時 9月26日(木) 15:40~
 場所:高校チャペル
 式・奨励:司祭 原田佳城師 (高校チャプレン)

(大學)
 日時 9月26日(木) 15:10~
 場所:神戸国際大学諸聖徒礼拝堂
 式:大学チャプレン 司祭 河村 博之
 奨励:大学学長 下村 雄紀
 奏楽:大学オルガン友の会 堀 香織

◎2019年 学院関係逝去者記念式
 日時 11月1日(金) 16:00~
 場所:八代学院チャペル
 式:高校チャプレン 司祭 原田 佳城
 奨励:大学チャプレン 司祭 河村 博之
 奏楽:附属高校チャペル委員 大和 慎吾
 *礼拝終了後、ミカエルホールで茶話会がもたれました。

◎2019年度 学院クリスマス礼拝・永年勤続表彰式
 日時 12月11日(水) 18:00~
 場所:神戸聖ミカエル教会
 式:大学チャプレン 司祭 河村 博之
 説教:高校チャプレン 司祭 原田 佳城
 奏楽:本学オルガニスト 伊藤 純子

30年勤続表彰受賞者
 青木尚龍 (高校保健体育科教諭)
 田阪茂政 (高校数学科教諭)

20年勤続表彰受賞者
 三宅義和 (大学経済学部教授)



附属高等学校宗教部 (宗教委員会)

◎新入生 イースター礼拝
 日時 4月10日(水)
 場所:神戸聖ミカエル教会
 奨励:司祭 原田佳城師 (明石聖マリア・マグダレン教会牧師・附属高校チャプレン)

◎春の宗教週間 5月27日(月)~6月2日(日)
 特別礼拝
 1年生 5月28日(火) 1校時
 奨励 執事 遠藤洋介 師
 (日本聖公会 神戸聖ミカエル教会牧師補)
 2年生 5月29日(水) 1校時
 奨励 司祭 藤井尚人 師
 (日本聖公会 神戸聖ヨハネ教会牧師)
 3年生 5月30日(木) 1校時
 奨励 司祭 原田佳城 師
 教会出席奨励日 6月2日(日)

◎八代斌助主教メモリアル週間 10月7日(月)~13日(日)
 メモリアル礼拝・高校創立記念日礼拝
 日時 10月9日(水) 15:40~
 説教 司祭 原田佳城 師
 なお、10月27日(日)は聖ミカエル教会礼拝出席
 奨励日とし、礼拝後、校長・宗教主事、
 生徒・教職員有志らの参列を得て八代主教の墓参
 の祈りをささげました。

◎秋の芸術鑑賞会 (宗教音楽コンサート)
 日時 10月11日(金)
 場所 明石市民会館
 出演 タコタコシンガーズ&フレンズ

◎秋の宗教週間 11月4日(月)~10日(日)
 1年生 11月5日(火) 1校時
 2年生 11月6日(水) 1校時
 3年生 11月7日(木) 1校時
 ※礼拝の際、ベトナムから留学生ミン・チャウさん、マイ・チャンさんからお話を伺いました。
 教会出席奨励日 11月10日(日)~11月24日(日)

◎クリスマスツリー点灯式
 日時 11月22日(金) 16:30~
 場所 高校チャペル
 奨励 司祭 河村博之
 (日本聖公会 神戸聖ミカエル教会副牧師)

◎クリスマス礼拝
 日時 12月16日(月)~17日(火)
 場所 神戸聖ミカエル教会
 奏楽:原田里香子 姉 (明石聖マリア・マグダレン教会)
 奨励:1年生 濱山会治 師
 (日本聖公会 神戸昇天教会牧師)
 2年生 大野 至 師
 (日本キリスト教団 西神戸教会伝道師)
 3年生 大和慎吾 教諭
 (本校英語科教諭・学院チャペル委員)

大学キリスト教センター

◎2019年度春のチャペルウィーク
 期間:5月7日(火)~21日(火)
 対象:経済学部・リハビリテーション学部1年生
 主題:「神を畏れ 人を恐れず 人に仕えよ」
 場所:大学チャペル
 講師:大学チャプレン 司祭 河村 博之
 大学チャプレン 執事 遠藤 洋介

◎リハビリテーション学部「白衣祝福・推戴式」
 日時:6月3日(月) 17:00~
 場所:大学チャペル
 式:大学チャプレン 執事 遠藤 洋介
 奨励:大学学長 下村 雄紀

◎教会オルガニストのためのオルガン講座(春)
 Aグループ 4月23日(火)・5月28日(火)、
 6月25日(火)
 Bグループ 5月14日(火)・6月11日(火)、
 7月9日(火)
 場所:大学チャペル
 講師:伊藤 純子 (本学オルガニスト)

◎海外研修プログラム・交換留学壮行礼拝
 日時:7月24日(水) 16:50~
 場所:大学チャペル
 式:チャプレン 河村 博之
 奨励:大学学長 下村 雄紀

◎教会オルガニストのためのオルガン講座(秋)
 Cグループ 10月15日(火)、11月5日(火)、
 1月7日(火)
 Dグループ 10月22日(火)、11月19日(火)、
 1月14日(火)
 場所:大学チャペル
 講師:伊藤 純子 (本学オルガニスト)

◎2019年度「秋のチャペルウィーク」
 期間:11月12日(火)~26日(火)
 対象:経済学部・リハビリテーション学部1年生
 テーマ:命の尊さ・人の生き方
 講師:大学チャプレン 司祭 河村 博之
 大学チャプレン 執事 遠藤 洋介

◎クリスマスイルミネーション点灯式
 日時:12月5日(木) 17:00~
 場所:大学構内

◎クリスマスオルガンコンサート
 日時:12月7日(土) 14:00~
 場所:大学チャペル
 演奏:桑山 彩子氏 (京都カトリック河原町教会オルガニスト。エリザベト音楽大学非常勤講師)

◎2019年大学クリスマス礼拝・学生表彰式・祝会
 日時:12月18日(水) 17:00~
 場所:大学チャペル
 *礼拝後、4号館にてクリスマス祝会。